

〔創造部門〕

1. 氏名 ひの あきひろ
日野 晃博 ゲームクリエイター
株式会社レベルファイブ代表取締役社長／CEO
2. 年齢 50歳 (H30.10.19現在)
3. 住所 福岡市 (株式会社レベルファイブの所在地)



【経歴及び選考理由】

福岡の開発会社でメインプログラマー、ディレクターを経て、子供たちにワクワクしてもらえるゲームを作りたいという思いから、平成10年10月にレベルファイブを設立。

世界累計出荷1,700万本を記録した「レイトン」シリーズや、社会現象となった「妖怪ウォッチ」をはじめ「イナズマイレブン」「スナックワールド」各シリーズなどのクロスメディア作品で、企画原案、シナリオ制作、プロデューサーを務め、続々とヒット作を生み出す。

これらの業績が評価され、平成23年にはコンピューターエンターテインメント協会が大きな功績のあった開発者を顕彰する「CEDEC AWARDS2011」ゲームデザイン部門にて最優秀賞を、平成26年にはゲーム産業の発展に寄与したとして「日本ゲーム大賞2014」経済産業大臣賞を、また、平成23年と27年には読者からの投票・販売本数・話題性などを元に、秀逸なゲームソフトやゲームクリエイター、制作会社などを選んで贈られる「ファミ通アワード MVP」を受賞している。

また、氏はゲームクリエイターとしての制作活動に加え、平成24年に福岡県と産学官で組織された「福岡県 Ruby・コンテンツビジネス振興会議」では顧問を務めるなど、福岡県のゲーム産業の振興に尽力している。

このように氏は、福岡県を拠点に本県のみならず日本のゲーム産業を牽引し、メディア芸術の向上・発展に大きく貢献している。

コメントの追加 [KS1]: 系列が前後してしまうのですが、どちらか一方だけを取り上げるのも少し違和感がありましたのでこのようにご調整いただけますと幸いです。

<受賞歴>

- ・「CEDEC AWARDS2011」ゲームデザイン部門 最優秀賞 (平成23年)
- ・「日本ゲーム大賞2014」経済産業大臣賞 (平成26年)
- ・「ファミ通アワード」MVP受賞 (平成23年、27年)
- ・第40回「経済界大賞」優秀経営者賞 (平成26年)
- ・福岡ビジネス・デジタル・コンテンツ賞2015 (平成27年)
- ・「ファミ通アワード2014」MVP受賞 (平成27年)
- ・第34回「ベスト・ファーザーイェローリボン賞」経済部門 (平成27年)
- ・第28回「東京国際映画祭 ARIGATO賞」 (平成27年)
- ・福岡市文化賞 (平成27年) など



『妖怪ウォッチ4』



『イナズマイレブン アレスの天秤』



『レイトンミステリージャーニー
カトリーエイルと大富豪の陰謀 DX』

©LEVEL-5 Inc. ©2018 LEVEL-5 Inc.

(参考) 創造部門：個性的・創造的な文化活動を行い、優れた業績を残し、県民文化の向上・発展に貢献したもの